生野高校
77期 1年

# 学年通信 悉しつう有

第21号（2023年 2月27日）

大阪府立生野高等学校
大阪府松原市新堂１－552
072-332-0531(学校代表)
072-332-**0711**(学年直通)

【学年通信は保護者の方にも見せてください】

## ◆家を建てるイメージで

大学受験を、いつも私（高崎）は家を建てるイメージで説明しています。１・２年生は土地を造成する期間。しっかりとした土台を、２年生の 12 月までに造ります。２年生の１月からは「３年０学期」と呼び、建物の基礎部分を固め、早い人は柱を立て始めます。この棟上げを３年夏休みまでの半年間で行い、秋が深まるにつれて屋根・外壁・内装――と、完成へ向かいます。

さて、１年春休みの段階で最低限これだけは必ず取り組んでおいてほしいものが、土地の造成です。地盤の補強やしっかりとした更地を造っておきましょう。緩い地盤のままでは、その上に建物の基礎部分を置いても、地盤が重みに耐えられません。穴だらけの土地のままでは、柱を立てても建物が傾くだけです。不充分な土台の上に家を建てていっては、傾く度に補強材を施さねばなりません。しっかりと理解していない・定着していないのに演習ばかりして、やってもやっても伸びが鈍いというのが、このケースです。砂上に楼閣を建てるような道筋を、敢えてたどる必要はありません。

上記の工程から逆算して、１年生の春休みにやっておくべきことは実に明確です。１年生に学んだことを総点検し、どこに穴があいているのかを明らかにして、それを一つずつ埋めていくイメージで学習に取り組みましょう。定期考査も模試も、どこに穴があいているのかを明らかにするチェックポイントです。そのポイント（試験）でチェック（手当てすべき内容を明らかに）したならば、その後に解き直し（穴を埋めていく学習）をせねば勿体ない。試験勉強をしっかりやる効能は、上記のチェックの精度を高めること、よりレベルの高いチェックに手が届くこと――といったところでしょうか。

学年通信『悉有』第３号(4/28)で、連休中に４月の授業内容の総点検をするよう促しました。「５月以降に学ぶ内容をロスしないためにも、４月の内容を固めておくことが大切」と書きました。同じことが現在の皆さんにも当てはまります。２年に学ぶ内容をロスしないためにも、１年の内容を固めておくことが大切なのです。

“夏休みが一番長い休み”という感覚は、高校には当てはまりませんし、“夏休みが実は短い”ということを、既に皆さんは実感しているはずです。公立の高校生にとって一番長い休みは春休みです。2/27(月)の午後から 4/9(日)まで、何日間あるか数えてみてください。さらに高校入試期間中は、登校禁止で部活動も止まります。

✓今やっても後からやっても、かかる時間と労力は同じ。でも効果は違う
　→だったら今やった方がいい
✓パッと始められる、取り掛かりの早さ
✓１年の学習内容で、穴を残さない

2/16(木)の学年集会で伝えた内容を、“計画だけで終わらず実際に取り組める”ことが、自分の“伸び率を上げていく”ための鍵なのです。

## ◆３月-４月初めの予定

3 / 6(月)午前　１・２年生 登校日（答案返却）
　8(水) 成績会議
　9(木) 8：45～10：15 新学年の教材購入
　＊9(木)午後～19(日) 高校入試登校禁止期間
　22(水) １・２年生登校日（後期終業式）
4 / 3(月) 新クラス・出席番号発表（下足前掲示）
　10(月) 始業式（新クラスで２年の教室に集合）
　　入学式準備（体育館設営）
　11(火) スタディサポート
　12(水) 対面式・授業スタート

＊校内各所の梅の花が満開です。下足前、五綱領前、体育館横――。生野高校の校章は白梅です。Google Classroom「77 期 学年」のトップ画像も白梅です。なぜ梅の花なのか知っていますか？